

みずほ

瑞穂池

第 58 号（発行：2026. 8. 5）

野幌森林公園ニュース

オオカマキリ！その後…

一斉に孵化した幼虫たち



孵化したての幼虫



孵化後、1 齢幼虫となって笹を登り始める



卵囊の断面



卵囊の断面を見てみると卵が
びっしり入っていたのがわかります。

昨年目撃情報が多かったオオカマキリですが、
6/5 に野外で卵囊からの^{らんのお}孵化^{ふか}を確認しました！

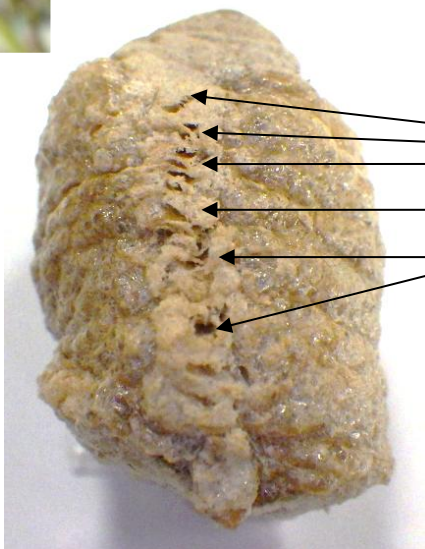
孵化したばかりの幼虫は、卵囊にぶら下がった
まま、すぐに脱皮して1 齢幼虫となり、その後も
何度か脱皮を繰り返して成虫になります。

孵化後は笹を登っていき、徐々に姿が見えなく
なりました。

この中から何匹が生き残り、子孫を残すのか今
後も目が離せません。

今年は何匹のオオカマキリが見られるのか注目
です！

※もともと野幌森林公園にオオカマキリは生息してい
ませんでした



孵化後の卵囊には
幼虫が通った穴が
多数空いています。



～執筆：普及啓発員 A～

蝶 or 蛾

北海道では 3500 種を超えるチョウ目(鱗翅目)が確認されています。野幌森林公園では 570 種が確認されていて、チョウは 70 種、ガは 500 種です。チョウとガを区別しない国が多い中、日本のように区別しているのは少数派のようです。

よく言われているチョウとガの違い

チョウ：昼に活動 翅を閉じて止まる 触角がこん棒状

ガ：夜に活動 翅を開いて止まる 触角がこん棒状ではない(くし形など)

これらの写真の内「チョウ」はどれでしょうか？



1.クジャクチョウ



2.クスサン



3.サカハチチョウ



4.クロフタオ



5.マダラカギバ



6.シジミチョウの仲間



7.ウスハラアカアオシャク



8.ヒメキマダラヒカゲ



9.ヒロオビトンボエダシャク



10.カノコガ



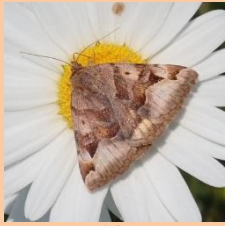
11.シロオビヒメエダシャク



12.ヒメコスカシバ



13.ジャノメチョウ



14.ツメクサキシタバ



15.イボタガ



16.エルタテハ



17.セグロベニトゲアシガ



18.シンジュ



19.フコシャクガの仲間



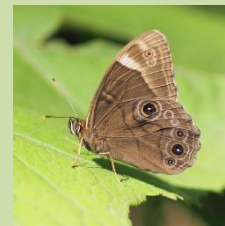
20.ヒゲナガガの仲間



21.シロツバメエダシャク



22.スジグロシロチョウ



23.クロヒカゲ



24.コチャ/バセセリ



25.モモズメ



26.モンキチョウ



27.ムラサキエダシャク



28.ミドリヒョウモン



29.クロボシフタオ



30.キアシドクガ



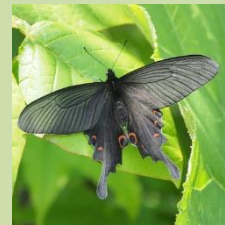
31.トラフジミ



32.アカスジキイロハマキ



33.オオミズアオ



34.オナガアゲハ



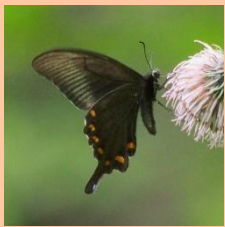
35.ウスベニヒゲナガガ



36.ガの仲間



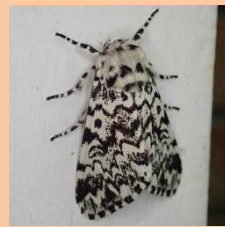
37.ヘリクロマダラエダシヤク



38.カラスアゲハ



39.クロハネヒトリ



40.ノンネマイマイ



41.シータテハ



42.ヒトリガ



43.キアゲハ



44.アサギマダラ



45.キシジホノマダラ



46.オオシロシタバ



47.キンスジコウモリ



48.コキマダラセセリ



49.オオヒカゲ



50.エゾシロチョウ



51.ベニスズメ



52.ベニヘリコケガ



53.トリハダの仲間



54.サカハチチョウ



55.ミスジチョウ



56.ウンモンズメ



57.ブドウスカシクロバ



58.ナシラガ



59.コツバメ



60.イカリモンガ



61.ガの仲間



62.ベニシジミ



63.モモトスカシバ



64.アトキハマキ



65.ガマキンウバ



66.ヤマキマダラヒカゲ



67.ウラギンスジヒョウモン



68.アマヒトリ



69.シモフリスズメ



70.チャノコエダシヤク



71.エゾシグロシロチョウ



72.キタスカシバ

昼に活動するガもいますし、翅を開いて止まるチョウもいますが、触角の形状を見るとおおよそ分けることができます。色や形にバリエーションがあるので、じっくり観察してみるのも楽しみの一つですよ♪

チョウ：1.クジャクチョウ、 3.サカハチチョウ、 6.シジミチョウ仲間、 8.ヒメキマダラヒカゲ、
 13.ジャノメチョウ、 16.エルタテハ、 22.スジグロシロチョウ、 23.クロヒカゲ、
 24.コチャバネセセリ、 26.モンキチョウ、 28.ミドリヒョウモン、 31.トラフシジミ、
 34.オナガアゲハ、 38.カラスアゲハ、 41.シータテハ、 43.キアゲハ、
 44.アサギマダラ、 48.コキマダラセセリ、 49.オオヒカゲ、 50.エゾシロチョウ、
 54.サカハチチョウ、 55.ミスジチョウ、 59.コツバメ、 62.ベニシジミ、
 66.ヤマキマダラヒカゲ、 67.ウラギンスジヒョウモン、 71.エゾスジグロシロチョウ

参考：「北海道の蝶と蛾」 堀繁久・櫻井正俊 北海道新聞社
 「野幌森林公園の昆虫類Ⅱ 鱗翅目」 坂本与一・門崎允昭・田村茂 北海道開拓記念館

～文・写真：普及啓発員 J～

鳥の プチ情報

Vol. 12

野幌森林公園で見られる野鳥は約 160 種！？

とは言っても、毎日これだけの種類が見られるわけではありません。

夏だけに来る野鳥や、冬だけに来る野鳥、1 年中いる野鳥などさまざまです。

今回は、今年の 4/1～7/15 の期間に野幌森林公園で確認された種類をご紹介します。

留鳥(1 年中生息している野鳥)

アカゲラ、エナガ、オオアカゲラ、カササギ※、キクイタダキ、キバシリ、クマゲラ、コゲラ、ゴジュウカラ、シジュウカラ、トビ、ノスリ、ハシブトガラ、ハシブトガラス、ヒガラ、ヒヨドリ、フクロウ、ミソサザイ、ヤマガラ、ヤマゲラ (20 種)



クマゲラ

夏鳥(春から夏にかけて繁殖のため南から渡ってくる野鳥)

アオサギ、アオジ、アオバト、アカハラ、イカル、ウグイス、オオルリ、オシドリ、カイツブリ、カッコウ、カルガモ、カワセミ、カワラヒワ、キジバト、キビタキ、キンクロハジロ、クロツグミ、コガモ、コサメビタキ、コマドリ、コムクドリ、コルリ、センダイムシクイ、ツツドリ、ニュウナイスズメ、ノゴマ、ノビタキ、ハクセキレイ、バン※、ベニマシコ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、メジロ、モズ、ヤブサメ、ヤマシギ、ヨシガモ、ルリビタキ (39 種)



キビタキ

冬鳥(秋から冬にかけて越冬のため北から渡ってくる野鳥)

ウソ、ツグミ、マヒワ、マミチャジナイ、ヒレンジャク (5 種)



ウソ

合計 64 種類

※は近年見られるようになった種類

交流館周辺の野鳥が見られるおすすめのコース

4月～7月編

○ふれあいコース…クマイザサやアワダチソウなどが見られる草原のコース
見られた野鳥…ノビタキ、ベニマシコ、ホオジロ、モズ、ヤマシギなど

○エゾユズリハコース…カツラやヤチダモが見られる森林のコース
見られた種類…アオジ、キビタキ、クロツグミ、センダイムシクイ、フクロウなど

○大沢コース～四季美コース（大沢の池）…針葉樹林を含む森林やため池があるコース
見られた種類…アオサギ、カイツブリ、カルガモ、カワセミ、クマゲラ、メジロなど

情報は 4 月からのため、冬鳥は少なめでした。すでに北へ渡っていたのかもしれませんが、ここへ記載のない種類の目撃情報などがあれば、ぜひ自然ふれあい交流館まで！！

参考：「新訂 北海道野鳥図鑑」河井大輔・川崎康弘・島田明英/著 諸橋淳/イラスト 亜璃西社

～執筆：普及啓発員 N～

野幌森林公園 自然ふれあい交流館

(発行・編集/指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団)

開館時間：10～4 月 9:30～16:30、5～9 月…9:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日・振休の場合開館）、年末年始(12/29～1/3)

入館料：無 料

駐車場：大沢口 約 40 台収容、無 料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832

自然ふれあい交流館
公 式 ホ ー ム ペ ー ジ



自然ふれあい交流館
公 式 S N S

